

（潮寿荘だより・第379号）

2月3日 潮寿荘ホールにて節分が始まりました。まだ寒い日が続いているますが、潮寿荘では暖かな雰囲気の中、まずは年女の紹介です。（今は年男はいなかつたです）みんなで年女の今年の意気込みを聞いてみると、恐ろしげな音楽が流れ三匹の鬼がズカズカと押しかけてきました。入居者様は「何事？」ときょとんとしている方、本気で怖がり悲鳴をあげ半泣きになっている方、来た来た来たと笑っている方と様々。なかでもタ工さんは「退治してやる」というオーラをビシバシと放っていて印象的でした。

私たち凸凹鬼三匹（斎藤・青木・私健斗介護士）の登場であります。鬼



月 潮 寿 荘 だ よ り

令和5年3月15日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮寿荘
記事：3月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：橘井 俊彦（69歳）



「ホント司会のミニコントが行われています！」



新聞玉を筆頭に次々と入居者様の新聞玉の餌食になる鬼達。（職員も一緒に鬼に玉を投げそれが一番痛かったと鬼が言つていましたが）最終的に鬼達は泣きそうな声で、これから人々に災いを起こさないので勘弁してください、と白旗を揚げ謝罪していました。入居者様の許しを得た鬼達は仲直りの証に潮寿荘のみな様と『鬼のパンツ』を歌つて踊つて無事に節分騒動は幕を閉めました。そして一



（子供の小学校入学に本人よりドキドキしている介護士・尾上幸）
一番大きな声で「鬼は外！」と退治した力ネーキよしさんと洋子さんの二名が大声大賞に選ばれ、二人ともまんざらでもない雰囲気でした。
最後は小腹が空いたという事もありまして、皆でポップコーンを食べて今までと同様に平和で楽しい潮寿荘が戻つてまいりました。（行事の時が一番輝いている氷室京介似のイケメン介護士・健斗泉）



もいこがン職のと専イ漬

専門用語で『インカムシステム』
と書いて『骨伝導』のヘッドフォン
(耳ではなく骨で音を聞く)を付け
職員同士で会話します。ヘッドフォン
が骨伝導なのは耳を塞がずに会話
ができるからです。しかし「いやあ、
これ付けていると他の音が聞こえな
いんですよ」と耳に付けている職員
の何人かいたのも楽しいエピソード。

文明の進化はめざましく、携帯電話も「ヘイ、シリ」とか言えれば応えてくれる時代になりました。昭和に生まれた私たちがその進化についていくのはかなりの挑戦です。が現代に生きるかぎりそれは避けて通ることができません。そして遂に潮寿荘にも「ヘイ、シリ」ならぬ「へイ、ウイズ」が入ってきました。

潮寿荘では介護士のスキルアップのため、月に一～二回勉強会を開催しています。2月の勉強会は『嘔吐処理』と『メンタルヘルス』についてでした。まず、嘔吐処理の勉強会ですが感染委員会のメンバーが「どうみのついた牛乳」を本当に口からでろでろおうと吐くところからスタートです。美人介護士古山さんが吐くと、みんなの介護士内村さんが説明をしながら手早く処理していきます。会場は「こんなに早いのか!!」「さすが皆の介護士内村!!」と言わんばか

勉強会を行っていきます

りの顔で真剣に聞いており、とても有意義な時間となりました。素早い嘔吐処理は、感染予防の重要なポイ

ントです。これでいつ嘔吐があつても大丈夫だと思います。

次にメンタルヘルス勉強会。講師は介護主任になりたての泉慶佑介護士です。メンタルヘルスケアとは「全ての働く人が健やかに生き活きと働くように気配りや援助をする」というもので、慶佑介護士は緊張しながらなんとかやりきりました。緊張の原因は潮太郎で働く実母と嫁が揃つ

て勉強会に参加してきたからです。無事に終わり施設長から「ストレス発散方法は何?」と全参加者へ質問があると「カラオケ」「友人とお酒を飲む」「氷室京介を聞きながらお酒を飲んで歌つて踊ること」など、いろいろなストレス発散方法がでました。僕は主任一年生とまだまだ新人ですが今後は全職員を気にかけて良い職場にできるよう頑張っていきたいと思います。おしまい。

(3度目の禁煙に一週間で挫折しちやつた介護士・慶佑泉)

作品紹介



アサダさんの生け花です

4月の予定

(日) 陽光記念日 (土) 特別口契茶(あんぽん)	10日 鍋会食 (月)(みぞれ鍋)	24日 鍋会食 (月)(みぞれせんニ)
4日誕生会 (火) 不在者投票(道)	12日 花クラブ (水)(外部講師)	26日 花クラブ (火)(外部講師)
6日 理長 (木)	18日 不在者投票(市) (火)	27日 ひげ訓練 (木)
8日 花まつり (土) 特別口契茶(甘酒、さくらもち)	♪ ♪ ♪ ♪ ♪	♪ ♪ ♪ ♪ ♪